



# ごとう整骨院News

<http://www.goto-hand.com/>

Vol, 48 | 11 月号

## 糖尿病について

\*糖尿病とは  
定義.. 正常耐糖能者(普通の人)では、血糖値は通常、食事に反応して

140mg/dLよりも上昇することはなく、一般的に2~3時間以内に食前値に戻ります。世界保健機関は正常耐糖能を、経口糖負荷試験で75g糖負荷後2時間値が140mg/dL未満と定義しています。「食後高血糖」を摂食2時間後の血糖値が140mg/dLを上回る場合と定義しています。

糖尿病とはさまざまな病因に起因する高血糖を特徴とする代謝障害をきたす症候群です。一型と二型糖尿病があり、40歳以上に発症するのは二型が多いです。二型糖尿病の場合80%は肥満です。二型で痩せ型の場合一般に膵臓のβ細胞の機能不全の素因を強く持っているようです(遺伝)。  
日本人はインスリン分泌能力低下が多いです。日本人は95%以上が一型糖尿病です。

一型	二型
<b>病因</b>	<b>インスリン抵抗性とそれを代償するには不十分なすい臓β細胞機能</b>
<b>インスリン濃度</b>	<b>典型的には正常値以上</b>
<b>インスリン作用</b>	<b>減弱</b>
<b>インスリン抵抗性</b>	<b>あり</b>
<b>発症年齢</b>	<b>典型的には40歳以上</b>
<b>急性合併症</b>	<b>高血糖</b>
<b>慢性合併症</b>	<b>一型と同じ</b>
<b>薬物療法</b>	<b>多くの種類が使用可能 無効な場合インスリン</b>

摂取された糖はエネルギー源であるとともに、血糖値として残ってしまうと、細胞や組織を作るタンパク質を糖化させます。(メイラード反応と言います。)そのため、身体は血糖値を厳密にコントロールしています。(低すぎず高すぎない値)炭水化物を摂取すると小腸でグルコース(ブドウ糖)に分解され、大量のグルコースが体内に吸収されます。体内でのグルコースは、エネルギー源として重要である反面、高濃度のグルコースは体内での反応性が高く、生体内のタンパク質と反応して生体に有害な作用をもたらすため、インスリンの分泌により体内の血糖濃度が常に一定範囲に保たれています。この唯一のインスリンによる血糖調整機構が破綻すると高血糖による生体組織とのメイラード反応により糖尿病性神経障害・糖尿病性網膜症・糖尿病性腎症の微小血管障害、つまり糖尿病合併症を発生します。このように、血糖値(後述)、インスリン、血糖値、糖尿病はそれぞれ密接な関係にあります。

(院長 後藤)

ごとう整骨院

携帯サイト



診療時間

9:00 ~ 12:30  
15:00 ~ 20:00  
土曜日は午前中のみ  
日曜・祝祭日は休診

自律神経リラクゼーション療法は当院の  
独自療法です。他院では受けられません!!!  
今月院長は6・20お休みです。

キウナヨウツウオ-ゴトウ  
**048-942-0510**  
診療時間のみ受付です